

第534回 放送番組審議会

1. 日 時 2017年10月17日(火) 午後1時30分～
2. 開催場所 テレビ岩手 6階大会議室
3. 委員総数 9名

出席委員 7名

委員 長	千葉 隆史
委員	三浦 茂樹
委員	恒川 かおり
委員	大橋 綾子
委員	照井 勝也
委員	佐藤 俊彰
委員	佐藤 健志

欠席委員 2名

副委員 長	五日市 知香
委員	大内 敦

社側出席者	檜崎 憲二 (代表取締役会長)
	榎野 信治 (代表取締役社長)
	山口 英二 (専務取締役)
	青山 尚之 (常務取締役 兼 編成局長)
	池田 学 (営業局長)
	柴柳 二郎 (報道制作局長)
	丸谷 尚史 (報道制作局報道部副部長)

事務局	遠藤 隆 (編成局放送番組審議会事務局長)
	平山 亜希子 (編成局編成部副部長)

4. 議 題

「ニュースプラス1 特集 FUTABA 世界の頂へ ～中学生クライマーの挑戦」

10/8 (土) 16:25～16:55 放送

5. 資 料 (資料として以下のものを配布)

- ・ 視聴者からのご意見

6. 意見

委員側意見

- すごい中学生がいるんだと実感した。
- 途中途中で説明を入れながら番組を構成していたが、見る側からすると、最初に全体像の説明があって、その場面、場面でもう少し詳しく説明があればストレスなく見られた。
- さわやかな番組で気持ちのよさが残った番組だった。スポーツライミングという競技も大変よく分かったし、何よりも選手の魅力が非常に伝わってきた。
- これからも継続的に取材を続けて、貴重な足跡を記録し、オリンピックの時に集大成に結び付くような期待を持った。
- 見終わった後に、すごく刺激をもらった。今日本中で中学生が大活躍しているが、もっともっと子ども達が安心して活躍できるような、そういう社会であるように大人として頑張りたいと思った。
- 今回の番組は伊藤選手の魅力をどうやって多く引き出すか、それをどうやって伝えるかというのが一番のポイントだった気がするが、それを十分に実現できた番組だった。
- 競技者からの実際の視線、風景を見たいと感じた。CCDカメラを使ったり、あるいはドローンなどで、実際上から見るともっともっとすごい迫力があるのでは。
- 彼女はアスリートなので、競技で成績を残せるように温かい目で大人が見守って行って、競技者として、もっと成長できるような取材の仕方をしてほしい。

局側意見

- 競技のルールや競技がどういうものかをどの程度盛り込むかが今回の番組で確かに難しいところで、一番の番組の肝は、伊藤ふたば選手の魅力と、世界で頑張っている姿というものを伝える事を主眼に置いて、それをフォローする意味で競技とはどういうものなのかを盛り込んでいこうというスタンスで構成した。
- カメラで取材をするようになってから1年半ちょっと。その間の歩みをまとめて一つの集大成にしようという事で今回この番組を制作。
- リード競技などで一番上に登っていった時にどういう景色を見ているのかというのは大変興味を引くので、チャンスがあればぜひCCDカメラ等を使って撮影してみたい。

10月番組審議会（今回）のテレビ放送予定

10月24日（火）11:45-11:52「あなたと歩むテレビ岩手」